




太刀 銘国行



指定区分	国指定重要文化財(工芸品)
読みかた	たち めいくにゆき
所在地	津山市神戸 作楽神社
指定年月日	昭和4年4月6日
解説	刃長69.9cm、反り2.4cm。茎(なかご)の目釘孔の下に「国行」の銘を刻む。国行は山城刀工の来派の一人で、来派は国行を祖として鎌倉時代中期から南北朝時代にかけて栄えた。宝永7年(1710年)将軍徳川家宣が当時の津山藩主に与えたもので、廃藩置県の際に作楽神社に奉納されたものである。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約25分／路面電車「城下」下車徒歩約10分／岡電バス「後楽園前」下車すぐ
公開状況	岡山県立博物館保管
設備	<p>駐車場は岡山後楽園駐車場を利用。</p> <p>    </p>
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(工芸品)
ぶんかざいめい (文化財名)	太刀 銘国行
よみかた	たち めいくにゆき
しょざいち (所在地)	津山市神戸 作楽神社
していつひ (指定した日)	昭和4年4月6日
せつめい	日本刀(にほんとう)は、武器(ぶき)であるとともに、すぐれた美術品(びじゅつひん)として認(みと)められています。古くから刀工(とうこう)によって日本独自(どくじ)の作り方が受(う)けつがれています。この太刀(たち)は江戸幕府(えどばくふ)から津山(つやま)の殿(との)さまにあたえられたものです。岡山県立博物館(おかやまけんりつはくぶつかん)で保管(ほかん)されています。